

菱刈鉱山における電力由来 CO₂排出の実質ゼロ化を実現

-九州電力が供給する再生可能エネルギー由来の電気料金メニューを導入-

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 野崎 明、以下「住友金属鉱山」）は、菱刈鉱山（鹿児島県伊佐市）で使用する購入電力を実質再生可能エネルギー由来電力へと切り替えました。これは、九州電力株式会社が提供する非化石証書つき電力を3月1日より導入することによるものです。これより、菱刈鉱山での電力使用による CO₂の排出量は2023年3月より実質ゼロになる見込みです。

当社グループは、「地球および社会との共存を図り、健全な企業活動を通じて社会への貢献とステークホルダーへの責任を果たし、より信頼される企業をめざす」という経営理念のもと、これからも、歴史に培われた金属に関する高度な知見と材料分野における高い技術力を融合し、資源開発から高機能材料の生産・リサイクルに至る一貫したサプライチェーンによる3事業連携のビジネスモデルで、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進してまいります。

・トラッキング付非化石証書活用で電力使用における実質 CO₂ゼロを実現

・対象施設

菱刈鉱山（鹿児島県伊佐市）

・導入再エネプラン

九州電力株式会社が提供する、環境配慮型メニュー「再エネ ECO プラス」を採用。

トラッキング付 FIT 非化石証書(※)(再エネ指定あり)を使用した、実質再エネ価値および実質 CO₂排出ゼロのプランです。

・菱刈鉱山での使用電力について

菱刈鉱山の使用電力量は26,097MWh(2021年度)であり、その内の98.7%は九州電力株式会社より購入しています。なお、残りの1.3%については、太陽光発電およびバイナリー発電の自家発電で賄っています。今回のプラン導入によって、自家発電分以外の購入電力について CO₂排出実質ゼロが実現され、菱刈鉱山での電力使用においては実質100%の CO₂排出削減となる見込みです。

※非化石証書：再生可能エネルギーなど非化石電源の環境的な価値を証書にしたもの。

九州電力株式会社の非化石証書の保有状況に応じて、非 FIT 非化石証書（再エネ指定あり）を活用する場合があります。

・カーボンニュートラルへ向けた施策

住友金属鉱山では、操業改善や技術イノベーションにより GHG 排出量や排出原単位を削減するとともに、電池材料や機能性インク（近赤外線吸収材料）といった低炭素負荷製品を開発し事業を拡大することにより地球全体での GHG 排出量を削減し、気候変動抑制に貢献していくために、以下の施策を推進しています。

<カーボンニュートラルに向けた施策について>

- ・製造工程の CO₂削減
- ・低炭素負荷製品の開発（2030 年度貢献 600 千トン-CO₂/年以上）
- ・非鉄金属の安定供給
- ・脱炭素化を支える革新技術の開発

詳細は下記 URL よりご覧ください。

URL https://www.smm.co.jp/ir/event/meeting/pdf/2022/221222_sustainability.pdf

以 上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報IR部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL：03-3436-7705 Eメール：smm_koho@smm-g.com